

平成22年第9回県教育委員会会議 教育長報告

1 報告事項

平成22年第2回沖縄県議会(6月定例会)における質問・答弁概要について

2 事項の説明

- 平成22年6月16日に開会した平成22年第2回沖縄県議会(6月定例会)における代表質問、一般質問において、主に次のような質問があった。

主な質問事項

- (1) 義務教育未修了者問題及び珊瑚舎スクールへの支援について：照屋大河、前田政明
- (2) インクルーシブ教育について：照屋大河
- (3) 教育事務所の見直しについて：嶺井光
- (4) 35人以下学級について：嶺井光
- (5) 発達障害児の通級指導等について：嶺井光
- (6) 公立小中学校の老朽校舎改築について：嶺井光
- (7) 人間国宝について：玉城満
- (8) 美ら島総体2010の県全体の取り組み状況について：玉城満
- (9) 子宮頸がん予防の普及啓発について：糸洲朝則
- (10) 空手の殿堂構想について：糸洲朝則
- (11) 南部離島町村学生宿舎(学生寮)の整備について：糸洲朝則、當間盛夫
- (12) 普天間第二小学校視察後の見解等について：渡久地修、奥平一夫
- (13) 病院に行けない子ども達の現状及び対応について：渡久地修
- (14) 幼児教育振興プログラムの課題等について：奥平一夫
- (15) 幼保一元化について：奥平一夫
- (16) 教職員の多忙化解消について：奥平一夫、嘉陽宗儀
- (17) 子どもの貧困について：奥平一夫
- (18) 台湾への修学旅行について：奥平一夫
- (19) 公立高校授業料無償化の効果等について：新垣安弘
- (20) 中国との交流を見据えた人材育成について：新垣安弘
- (21) 学校司書の改善状況と図書館教育ビジョンについて：渡嘉敷喜代子
- (22) 学力向上対策について：嘉陽宗儀
- (23) ひめゆり同窓会の運営について：嘉陽宗儀
- (24) 図書館行政及び八重山分館の位置づけについて：上里直司
- (25) 外国語指導助手の採用規定等について：西銘純恵、當山眞市
- (26) 特別支援学校等への希望者への対応等について：西銘純恵
- (27) 選手派遣費用の基金創設等について：山内末子

このうち、「義務教育未修了者問題及び珊瑚舎スコールへの支援について」、「教育事務所の見直しについて」、「美ら島総体2010の県全体の取り組み状況について」、「南部離島町村学生宿舍（学生寮）の整備について」、「外国語指導助手の採用規定等について」の答弁要旨は、以下のとおりである。

(1) 義務教育未修了者問題及び珊瑚舎スコールへの支援について

質問要旨： 義務教育未修了者問題に対する現状認識とこれまでの対応の内容と今後の対応についての基本的な見解を聞きたい。

また、珊瑚舎スコールの役割等について聞きたい。

答弁内容： 平成12年度の国勢調査によりますと、義務教育未修了者は、約9,000人となっております。その中で、戦中戦後の混乱で義務教育を受けられず、学齢期を過ぎた人は約1,300人いると思われまます。

これまで、県教育委員会では、対象となる方々に対して、卒業証書の授与や定時制高校の受検資格の特例措置を行ってまいりました。

今後とも、この問題を、戦後処理の一環として受け止め、国や関係部局との調整を行ってまいりたいと思います。

また、珊瑚舎スコール夜間中学は、戦中戦後の混乱期に義務教育を受けることができなかった方々に対し、学びの場を提供しており、重要な役割を果たしていると考えております。

なお、具体的な支援につきましては、現在、検討中ではありますが、財政面では、現行の制度上、厳しいものがあると考えております。

しかしながら、これらの方々に対し、学ぶ機会を提供することは大切なことだと認識しており、国や関係部局等と、どのようなことができるのか、情報交換をしていきたいと考えております。

(3) 教育事務所の見直しについて

質問要旨： 新沖縄県行財政改革プランで教育事務所のあり方を検討するとしているが、どのような方向性を考えているか。

答弁内容： 教育事務所の見直しについては、地方分権の進展等に伴う市町村合併の流れの中、市町村において主体的に地域の実情に応じた教育行政を推進していくことが期待されていることをふまえ、これまでの教育事務所のあり方を検討するものです。

具体的には、現在教育事務所で実施している事務事業の見直しを進めるとともに、市町村教育委員会における主体的な行政運営を促進しつつ、県の支援体制を見直すものであります。

(8) 美ら島総体2010の県全体の取り組み状況について

質問要旨： 美ら島沖縄総体2010の県全体の取組み状況について聞きたい。

答弁内容： 「美ら島沖縄総体2010」は、7月28日から8月20日までの24日間、北は国頭村から南は宮古島市、石垣市を含む県内27市町村で28競技が開催されます。

登山競技は鹿児島県・宮崎県にまたがる霧島連山で行われます。

県外から約3万6千人の選手・監督等が来県し、県内選手等約2万人の合計約5万6千人が参加する大会です。

大会に向けては、全国から来県する選手等の受け入れや総合開会式、各競技の運営準備など順調に進めております。

また、市町村においても、50日前推進イベントを実施するなど機運も盛り上がっております。

県代表選手の活躍に大いに期待するとともに、参加されたすべての皆様にとって沖縄開催が思い出に残る素晴らしい大会となるよう、万全を期してまいります。

(11) 南部離島町村学生宿舎（学生寮）の整備について

質問要旨： 南部離島町村学生宿舎（学生寮）整備について聞きたい。

答弁内容： 離島出身の生徒が安心して学習や生活ができるよう支援することは大切なことであると考えております。

現在、県立高等学校11校に寄宿舎を設置し、離島出身の生徒の入寮を優先した配慮を行っております。

南部離島町村学生宿舎の建設については、事業主体や用地・建設費の確保、管理運営などの課題があります。

県教育委員会としましては、離島出身の生徒の入寮について、他の学校の寄宿舎にも入寮できるシステムづくりで、対応しているところであります。

(25) 外国語指導助手の採用規定等について

質問要旨： 外国語指導助手の採用規定等について聞きたい。

答弁要旨： 外国語指導助手の採用につきましては、国による採用と、市町村教育委員会独自の採用があります。

国が採用する外国語指導助手の資格要件としましては、心身ともに健康であり、積極的に子供と共に活動する意欲があるなど、16項目の要件があります。

また、市町村教育委員会による採用の場合は、国の資格要件等に準じて、当該教育委員会が定めており、学歴や資格、外国語指導助手としての経験等を鑑みて適正に行われているものと聞いております。

なお、主な職務内容としましては、小、中学校における日本人教師による外国語授業の補助等となっており、国や市町村教育委員会のそれぞれの雇用契約書等に明示されております。

○ 文教厚生委員会において、以下の議案、請願及び陳情の審査が行われた。

(1) 議案審査

乙第7号議案 沖縄県立高等学校等の授業料等の徴収に関する条例の一部を改正する条例
(原案可決) 全会一致

乙第8号議案 沖縄県立青少年の家の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
(原案可決) 多数

(2) 陳情審査

・新規陳情 (9件)

陳情 第61号の2 無償教育の実現を求める陳情 (継続審議)

陳情 第78号 戦争遺跡の保存に関する陳情 (継続審議)

陳情 第84号 県立南部農林高等学校と県立南部工業高等学校の再編統合に反対し、単独農業高校としての継承、発展、充実を求める陳情 (継続審議)

陳情 第106号 県立高等学校における進級・卒業規程見直しに関する陳情 (継続審議)

陳情 第121号 「30人以下学級完全実現」のための陳情 (継続審議)

陳情 第122号 「義務教育の国庫負担」堅持及び2分の1復元を求める陳情 (継続審議)

陳情 第123号 幼稚園教育の制度改善に関する陳情 (継続審議)

- 陳 情 第 139 号 沖縄南部離島町村学生宿舍（学生寮）整備に関する陳情
(継続審議)
- 陳 情 第 148 号 「沖縄県立高等学校管理規則の一部を改正する
規則案」の審議に関する陳情 (継続審議)
- ・継続陳情（45件）
- 陳情平成20年第 57号 2009年度政府教育予算の拡充を求める意見書の採択に関する陳情
(継続審議)
- 陳情平成20年第 63号 サッカー専用スタジアムの早期建設に関する陳情 (継続審議)
- 陳情平成20年第 64号 「戦争のできる国民づくり」教育に反対する陳情 (継続審議)
- 陳情平成20年第112号 友愛スポーツセンター跡利用に関する陳情 (継続審議)
- 陳情平成20年第125号 「全国学力・学習状況調査」の公表等に関する陳情 (継続審議)
- 陳情平成20年第137号 サングの保護に関する陳情 (継続審議)
- 陳情平成20年第142号 天然記念物の伐採に関する陳情 (継続審議)
- 陳情平成20年第189号 子供たちに行き届いた教育の保障を求める陳情 (継続審議)
- 陳情平成20年第192号 第60回九州地区地域婦人会及び平成20年度全地婦
連九州ブロック会議の決議に関する陳情 (継続審議)
- 陳情平成20年第199号 沖縄県教育委員会の職務不履行に関する陳情 (継続審議)
- 陳情平成21年第 57号 学校給食に環境保全型農業で生産された農産物の
使用促進に関する陳情 (継続審議)
- 陳情平成21年第 65号 沖縄ろう学校を「単独型の聴覚特別支援学校」と
して存続を求める陳情 (継続審議)
- 陳情平成21年第88号の2 沖縄学生会館の閉館に関する陳情 (継続審議)
- 陳情平成21年第 94号 新学習指導要領理科の実現へ向けての環境整備に関する陳情
(継続審議)
- 陳情平成21年第 95号 沖縄学生会館の再建に関する陳情 (継続審議)
- 陳情平成21年第105号 サッカー専用スタジアムの早期建設に関する陳情 (継続審議)
- 陳情平成21年第106号 県立高等学校編成整備実施計画に関する陳情 (継続審議)
- 陳情平成21年第110号の2 公私の格差是正と制度等に関する陳情 (継続審議)
- 陳情平成21年第112号 特別支援教育のさらなる推進に関する陳情 (継続審議)
- 陳情平成21年第117号 沖縄学生会館の再建を求める陳情 (継続審議)
- 陳情平成21年第122号の3 県がワーキングプアをなくす先頭に立ち、
非正規等の待遇改善を求める陳情 (継続審議)
- 陳情平成21年第132号 環境教育でEMを活用することに関する陳情 (継続審議)
- 陳情平成21年第133号 沖縄県の学校施設の地震対策や濁水対策に関する陳情 (継続審議)
- 陳情平成21年第137号 沖縄県立美術館の「展示拒否問題」に関する陳情 (継続審議)
- 陳情平成21年第138号 沖縄県立博物館・美術館の大浦信行作品展示
拒否事件に関する陳情 (継続審議)
- 陳情平成21年第142号 「30人以下学級」完全実現のための陳情 (継続審議)

陳情平成21年第145号	県立久米島高等学校園芸科の存続に関する陳情	(継続審議)
陳情平成21年第160号	「大浦湾チリビンのアオサンゴ群集」の天然記念物指定に関する陳情	(継続審議)
陳情平成21年第178号	次世代育成支援対策後期行動計画策定に対する陳情	(継続審議)
陳情平成21年第192号	県立南部農林高等学校と県立南部工業高等学校の再編統合計画案に反対し、現行どおり単独「農林高校」としての継承、発展、充実を求める陳情	(継続審議)
陳情平成21年第193号	ブラジルに現存する古典的な沖縄三線の鑑定に関する陳情	(継続審議)
陳情平成21年第196号	子供たちに行き届いた教育の保障を求める陳情	(継続審議)
陳情平成21年第197号	「第61回九州地区地域婦人大会」並びに「平成21年度全地婦連九州ブロック会議」決議に基づく陳情	(継続審議)
陳情平成21年第203号	県立南部農林高等学校と県立南部工業高等学校の再編統合計画案に反対し、現行どおり単独「農林高校」としての継承、発展、充実を求める陳情	(継続審議)
陳情平成21年第204号	「労働安全衛生委員会」の設置を求める陳情	(継続審議)
陳情平成21年第205号	幼稚園教育の制度改善に関する陳情	(継続審議)
陳情平成21年第210号	子供と向き合うゆとりを学校に取り戻すための陳情	(継続審議)
陳情第8号	県立南部農林高等学校と県立南部工業高等学校の再編統合に反対し、単独「農業高校」としての継承、発展、充実を求める陳情	(継続審議)
陳情第23号	「若夏荘」「沖縄学生会館」に関する陳情	(継続審議)
陳情第24号	子供と学校の安心・安全のために正規の学校職員の配置を保障することを求める陳情	(継続審議)
陳情第27号	沖縄県から「いじめ」を追放し、いじめ撲滅ナンバーワンの県を目指して実効性のあるいじめ防止施策の実施及び「沖縄県いじめ防止条例」制定を求める陳情	(継続審議)
陳情第28号	子供にこたえる学校図書館を求める陳情	(継続審議)
陳情第29号	子供にこたえる学校図書館を求める陳情	(継続審議)
陳情第38号	県立高等学校再編整備実施計画に関する陳情	(継続審議)
陳情第49号	「第43回沖縄県知的障害者教育・福祉・就労研究大会」における大会決議に関する陳情記の2	(継続審議)

このうち、陳情の審査について主なものは、以下のとおりである。

陳 情 第 106 号 県立高等学校における進級・卒業規程見直しに関する陳情

陳情要旨： 県教育庁が「退学率改善のため」として04年に導入した進級・卒業規程の改定は高教組がまとめたアンケート調査によると、進学校11校を除くすべての高校で「生徒の学校生活に悪影響が出た」との結果が明らかになった。

については、県教育庁に対し、今後のスケジュールや教職員と保護者の声を反映する合同検討委員会設置について県議会の場で明らかにし、県立高等学校における「進級・卒業規定」を各学校の実情に合わせた「学校独自の内規」として認めもらうため「県立学校管理規則」を改定するよう配慮してもらいたい。

処理方針： 高校に入学した生徒一人一人の学ぶ機会を保障し、高校を卒業させ、自分の人生に夢や希望を持って、たくましく生きることを支援することは重要なことだと考えております。

県立高等学校における進級に関する規定については、多様な生徒の個性の伸長や学ぶ意欲の向上、学習環境を保障するという教育的配慮から行うものであります。また、生徒の身分や権利及び将来の人生設計に大きな影響を及ぼすものであることから、慎重に検討していく必要があります。

県教育委員会としましては、今後とも学校や関係団体等と進級に関する現状や課題について、情報交換を行うとともに、学習指導要領の改訂や授業料無償化等状況の変化を踏まえ、生徒の「生きる力」の育成を目指し、総合的な観点から研究を進めてまいりたいと考えております。

○ 米軍基地関係特別委員会において、以下の請願及び陳情の審査が行われた。

(1) 請願・陳情審査（教育委員会関係）

・継続請願・陳情（2件）

請願平成20年第1号 新基地建設に関する請願 (継続審議)

陳情平成20年第89号 普天間飛行場代替施設（新基地）建設事業にかかるアセス手続及び「環境現況調査」並びにキャンプ・シュワブ内における「造成」工事等に関する陳情 (継続審議)

※各委員会で審議された教育委員会関係議案等の本会議における処理状況

(平成22年7月9日閉会)

乙第7号議案は、全会一致で原案のとおり可決された。

乙第8号議案は、賛成多数で原案のとおり可決された。

関係請願及び陳情の審査の結果は、各委員会委員長の報告のとおり全会一致で決定された。